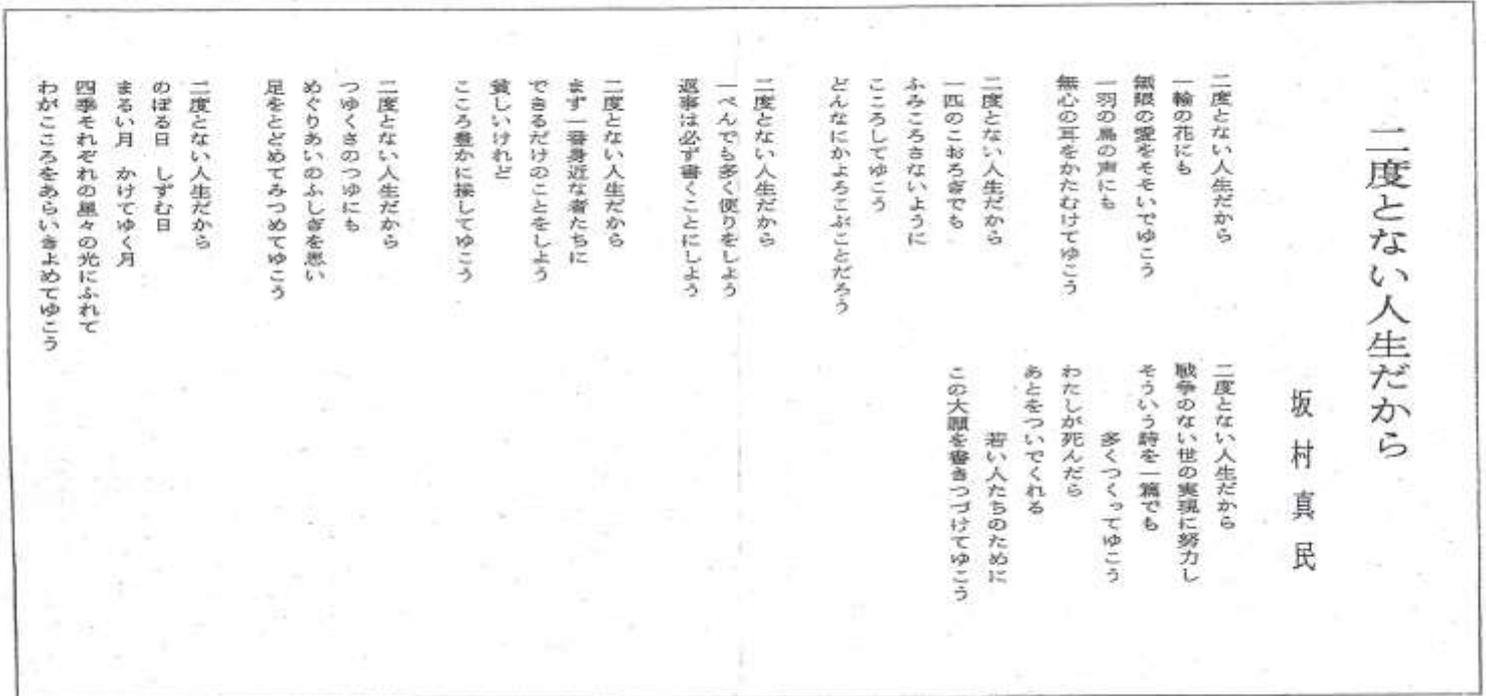


# 郷中だより

令和3年2月22日  
倉敷市立郷内中学校長発行  
学校だより 第23号

## 坂村真民の詩 「二度とない人生だから」

人生の節目である立志を迎えた2年生に、自分の将来について考え、目標をもって生活をしてほしいという願いから、参観日に「二度とない人生だから」という詩に込められた作者の思いを感じ取り、さらに自分やクラスの「二度とない人生だから」について考えました。



後日、その授業を参観された保護者の方があいさつ運動に参加していただき、「私は若い頃、坂村真民の詩集をずっと愛読しており、心の支えでした。ボロボロになっていますが今も捨てられず持っています。とても懐かしく授業を拝見しました。それに、もう子どもが人生について考えられる年になったのだなあと、随分成長したものだ、親として感慨深いものがあります。」と、話していただきました。

このお話を聴かせていただき、生徒たちも一冊の本との出会いが心の琴線に触れ、励まされたり、心の経験値が上がり自分の人生を豊かにしてくれたりすることがあるだろうと、改めて本との出会いを大切にしてほしいと思いました。ちなみに、私の好きな言葉は、作家 武者小路実篤の

「天与の花咲かす喜び とともに咲く喜び  
人みるもよし 人見ざるもよし 我は咲くなり」です。

ちょうど今、校庭の梅の花が美しく咲いています。

「人に見せるために咲いているわけではなく、自分に与えられた喜びだから、私は咲いています。あなたも一緒に咲きましょう。」  
と言っているように聞こえます。



先日の性教育講演会で、「私たち一人ひとりが生まれてくることは、奇跡だ」と教えていただきました。あなたの代わりは世界中をさがしても、いないのです。お互いの尊い命を大切に、二度とない人生を自分らしく生きていきましょう。

裏面に続く→

